

仙北市水道事業経営戦略 概要版

1 はじめに

(1) 策定の趣旨

水道事業は、給水人口や料金収入の減少、施設老朽化に伴う更新需要の増加、自然災害への対応など、今後も厳しい事業環境が続く見込みです。しかし、「安全な水を安定して供給する」という重要な責務を果たすため、中長期的な経営計画である「仙北市水道事業経営戦略」を見直し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ります。

(2) 計画期間

経営戦略の計画期間は、令和8年度から令和17年度の10年間としました。

2 経営の基本方針

【経営理念】 『安心・安全で潤いのある生活環境のまち』の実現を目指します。

【基本方針】 「持続」、「安全」、「強靱」のそれぞれの観点から目標を設定し、実現に向けて取り組みます。

1. 「持続」

未普及地域の解消と安定した事業経営を実現します。

2. 「安全」

水道水の安全の確保と衛生指導や管理体制を構築します。

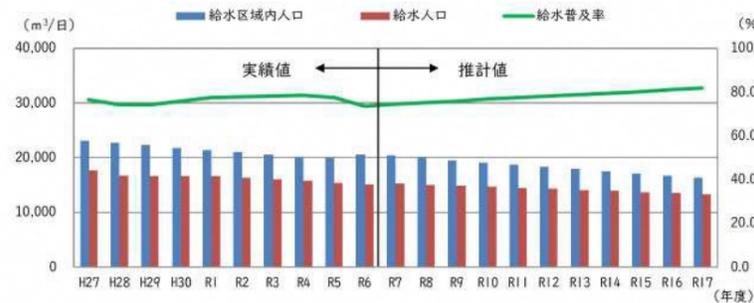
3. 「強靱」

耐震性の向上と災害対応能力を強化します。

3 仙北市水道事業の現況

・給水人口の予測

令和7年度の15,230人から、10年後の令和17年度には13,332人まで減少する見込みです。



・料金収入の見通し

料金改定に伴う一時的な増収が見込まれますが、長期的な減収傾向を補うには至っていません。料金体系については令和12年に改めて見直す予定としています。



4 投資・財政計画（収支計画）

(1) 投資試算

【基幹水道構造物の耐震化】

耐震診断を行った後に補強工事を行います。

事業期間：令和8年度～令和12年度 ※角館地区の診断業務は令和7年度実施済

【水道未普及地域解消】

給水区域外未普及地域への水道施設の整備を行います。

- ・継続事業 事業期間：令和8年度～令和12年度
- ・新規事業 事業期間：令和13年度～令和17年度

【水道管路緊急改善】

布設後40年位以上経過した基幹管路の更新を行います。

事業期間：令和8年度～令和12年度

【管路の耐震化】

導水管・送水管の耐震化を行います。

事業期間：令和8年度～令和12年度

(2) 財源試算

・基幹水道構造物の耐震化事業：国庫補助金、企業債を財源として見込みます。

・水道未普及地域解消事業：国庫補助金、企業債を財源として見込みます。

・水道管路緊急改善事業：国庫補助金、企業債を財源として見込みます。

・水道施設アセットマネジメント推進事業：国庫補助金、企業債を財源として見込みます。

・老朽管・施設等更新事業：企業債を財源として見込みます。

財政シミュレーション

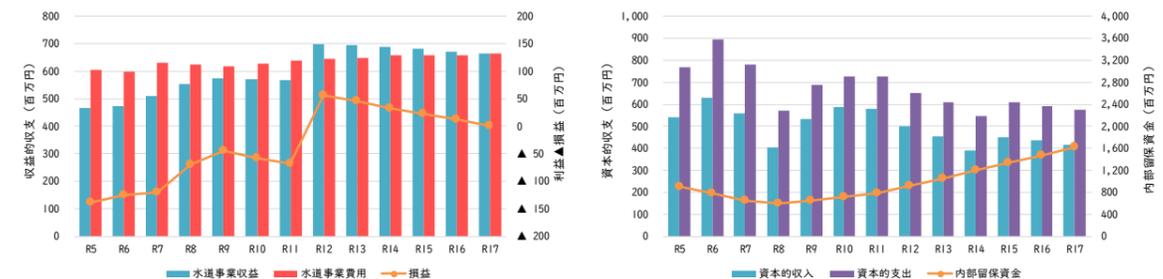
【収益的収支】

現在は料金改定の経過措置期間にあり、事業運営に必要な経費が増加するものの、料金改定を行うことにより、利益が出る見込みです。今後も安定した財源を確保するため、適正な水道料金の水準について継続的に検討し、必要に応じて見直しを進めます。

【資本的収支】

事業の実施に伴い、補填財源が増加する見込みです。

今後は国庫補助の活用や、企業債の借入額を抑えるなど経費削減の検証を行っていきます。



5 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

本経営戦略で定めた計画を着実に進めるために、毎年度の決算状況を反映し、PDCAサイクルにより進捗状況の検証を行います。その中で、経営、財政の状況が大幅に変更になった場合は見直しを行います。

次回の改定は令和12年度までに実施します。